ロマンは実を結ぶ

米子地本 よなご支部

No.242

選挙運動で生まれた仲間、地域との〝新たな絆〟

～創造、参加、実践～

このスローガンを執行部が先頭に立ち、米子支部全組合員の皆さんとＪＲ西労組運動をすすめています。

特に12年に1度の選挙ｙｅａｒである本年は、我らが米子地本の組織内議員であります福間ゆたか県議（77）の7期目当選、さらに連合鳥取推薦浜田妙子県議の5期目の当選に向けた第19回統一地方選挙総がかり大作戦に取り組みました！

地図落とし、ポスティングなどといった全組合員の総行動により見事当選を果たした喜びはもとより、地元新聞紙に《福間、浜田両陣営ともＪＲ西労組が中心となって取り組んでいる》と取り上げられ、地域にもＪＲ西労組の存在感を示すことに繋がったと実感しています。

「JR西労組」の名前が踊った地元紙

選挙運動が実を結び「組織力」を実感した米子支部

また近年、若者の政治離れ、投票率低下の中で、「投票にいこう！」運動の一環として、米子支部では期日前投票の取り組みを、支部のみならず分会にも要請するなど、支部が中心となって運動を展開。

連合でも先進的な取り組みであると高い評価をされています。引き続き、若者の政治離れをなくすために、創意工夫した取り組みを行います。

次代への継承が叫ばれる中で、組合運動の一環として取り組んでいた選挙活動ではありましたが、投開票日までたくさんの組合員にご協力いただき、両候補の当選といった最高の結果を果たすことができたことで、すべての行動が実を結び「組織力」が高まったと肌で感じる事ができました。

この運動を通しては、候補者の関係者の方々からもあたたかい言葉をいただき、うれしく思うと同時にこの取り組みにより生まれた「人間関係」、さらにいえば「新たな絆」は労働組合に関わっていたからこそのもので、次代への継承の一つの基盤ができたと考えています。引き続き、組合員に寄り添う運動だけでなく、地域に根差した共闘運動へも積極的に参画していきます。

〈米子地本発〉

JR連合 第11回 安全シンポジウム

『すべてのＪＲグループ職場の安全確立にむけて』

ＪＲ連合が主催する「第11回安全シンポジウム」が、10月16日（水）香川県県民ホール・レクザムホールに於いて開催された。

会場にはＪＲ連合を構成する各単組から４００名が集まり、ＪＲ西労組を含むＪＲ西日本連合からも１２０名が出席した。

第一部では、中央労働災害防止協会 中国四国安全衛生サービスセンターの山岡所長から「みんなで安全確認 安全職場ヨシ」をテーマに、指差呼称の役割と重要性等について講演いただき、四国旅客鉄道株式会社鉄道事業本部安全推進室の岡本室長からは「ＪＲ四国グループの安全推進」についての説明がされた。

各単組から400名が集結した JR連合「第11回安全シンポジウム」

第二部の「エリア連合からの取り組み報告」では、ＪＲ西日本連合を代表して、白壁事務局長から、「ＪＲ西日本連合の安全ディスカッションの取り組み」と題して、これまでＪＲ西日本連合が取り組んできた、独自の協力会社との安全懇談会や、ＪＲ西日本本社主管部と単組代表者との意見交換会等の取り組みについて報告がされた。

第三部は、パネルディスカッションがなされ、「安全で安心して働くことのできる職場づくりにむけて」とのテーマについて、電力総連の山本次長、株式会社ＪＲ四国ホテルズ高畠常務取締役、ＪＲ西日本連合加盟のＮＥＳＣＯ労組八木執行委員長なども加わって、積極的な討議が行われた。

ＪＲ西労組は、ＪＲ連合とともに、これからも安全の追求に全力をあげる。

福岡地方本部「地域復旧へ」ボランティア参加!!

福岡地方本部は、佐賀県武生市に設置された緊急災害支援フォームに、死者４名と７０００棟に及ぶ住家被害が発生した「令和元年８月九州北部豪雨」の地区ボランティア活動に参加した。

９月30日（月）、米村委員長はＪＲ連合九州労組の仲間と共に、８月27日（火）から観測値を更新した秋雨前線の線状降水帯による豪雨で被害に遭った地区の粗大ゴミ等撤去作業をおこなった。

今後も、労働組合の原点である助け合いの精神を忘れることなく、地域に愛されるＪＲ西労組運動を創り上げていく。

改めて、お亡くなりになった４名の御霊に哀悼の誠を捧げるとともに、被害に遭われた地域の方々にお見舞い申し上げます。

粗大ゴミ撤去作業を行う米村委員長と、ＪＲ連合九州労組組合員

第60回 全専従者会議

すべての専従者が一堂に集まり方針について討議

中央本部は、「第60回全専従者会議」を10月23日（水）に琵琶湖グランドホテルに於いて開催した。

中央本部、各地本・総支部の専従役員、総勢40名を超える専従者が集まり、安全確立に向けた取り組み、２０１９労働協約改訂交渉、当面する業務課題、組織の拡大と充実・強化、２０２０春闘、政策・政治活動、福祉対策部の課題などについて、議論が行われた。

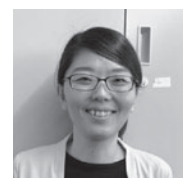
特に、安全については、７月17日の幡生駅構内で発生した触車事故から、危険な事象や事故が続いていることを踏まえ、ＪＲ西労組安全提言の改訂に向けて、課題の洗い出しを行うことや、組織の充実強化については、ＪＲ連合民主化闘争に関して、ＪＲ連合への総結集を目指してＪＲ連合と連携して取り組む方針が、改めて確認された。

また、賃金昇進制度の見直しについては、中央本部と各地本・総支部書記長で構成するＰＴで、職場討議資料を作成し課題抽出を行い、課題解決に向け取り組む方針が決定された。

総勢40名が一堂に会した全専従者会議

［執行部紹介］

新保 恵子



生年月日：1981年1月17日（38歳）
出身地本：金沢地方本部

プロフィール

社歴
2004年 4月　西日本旅客鉄道（株）入社
2004年 5月　京都駅　運輸管理係
2005年 8月　京都車掌区　車掌
2006年 8月　福井運転センター　車掌
2007年 8月　金沢列車区　運転士
2011年 8月　金沢支社　運輸課
2018年 6月　福井運転センター　係長

組合歴
2011年 9月　金沢地方本部執行委員
～
2018年 9月　金沢地方本部執行委員
2019年 7月　中央本部執行委員（非専従）

家　族　祖母、母、妹、姉家族
趣　味　旅行
抱　負　皆が働きやすい会社を目指して、頑張ります。よろしくお願いします!

辻　尚也

生年月日：1977年12月11日（41歳）
出身地本：京都地方本部

プロフィール

社歴
1995年 4月　西日本旅客鉄道（株）入社
1995年 5月　草津駅　営業係
1996年 3月　守山駅　営業係
1997年 6月　京都車掌区　車掌
2000年10月　米原列車区　車掌
2006年 5月　彦根駅　運輸管理係
2009年 9月　河瀬駅　運輸管理係
2016年 4月　近江八幡駅　運輸管理係
2018年12月　能登川駅　運輸管理係

組合歴
2009年12月　分会執行委員
2010年12月　分会副執行委員長
2011年12月　分会執行委員長
2014年 9月　滋賀支部執行委員
2015年 9月　滋賀支部副執行委員長
2016年 9月　滋賀支部書記長
2019年 7月　中央本部執行委員（非専従）

家　族　妻
趣　味　野球、スノーボード、ラフティング
抱　負　全ての組合員とその家族が笑顔で過ごせる未来のために精一杯頑張ります。